

令和5年度 ブルーインター 事業計画

事業所名	ブルーインター		
施設長名	八木 正美		
実施事業	母子生活支援		
開設年月日	平成15年4月1日		
所在地	鳥取県倉吉市福守町407-14		
正規職員(総合職)数	6名		
正規職員(一般職)数	4名		
準職員数	フルタイム：0名	パートタイム：0名	
契約職員数	フルタイム：1名	パートタイム：2名	
定員	30世帯	目標利用世帯 23世帯	利用率 76%
職員配置	施設長1名 母子支援員3名 保育士1名 調理員等1名 少年指導員兼事務員3名 個別対応職員1名 心理療法担当職員1名 夜間宿直専門員2名 計13名		

1 基本方針

児童福祉法の、「全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない」の規定に基づき、母子の生活と自立を支援します。

母子で入所できる児童福祉施設として、児童の心身共に健全な育成を母と共に目指します。様々な事情で困難な環境に陥っている母子が、生活力と精神力を取り戻し、自信をもって力強く地域で自立していけるように、思いやりと感謝の心で支援します。

2 運営

一般常識的な「日常」が、入所世帯の「日常」とは限らないということを念頭に置き、表面的な見方ではなく、慎重に隠れた問題を探り、根本的な解決を目指した、思いやりで満ちた関わりを心がけることで、母子が笑顔と喜びに満ちた、本当の意味での自立が出来るよう努めます。

- (1) 季節感を感じられる自然体験等の行事を取り入れ、心豊かな生活を提供します。
- (2) 春休み、夏休み、冬休みに学童保育を実施し、学校とは違う異年齢の集団で、一定のルールの中で、行事や学習活動を通じ、入所児童にソーシャルスキルやコミュニケーションスキルを身につけてもらうよう導きます。
- (3) DV、生活困窮の中で、子育てについての悩みや、場合によっては苦しみ、痛みを抱えておられる母子に寄り添い、職員もスキルアップに努め、母子に積極的に助言し、母親自らが問題の解決に能動的に行動できるように導きます。
- (4) 行政からの委託を受け、下記の事業を実施します。

① DV一時保護

配偶者からの暴力防止及び被害者の緊急的な一時保護を行います。

② 児童一時保護委託

虐待・放任等の理由によりその子どもを家庭から一時引き離す必要がある場合虐待を受けた子どもを保護します。

③ 倉吉市子育て支援短期利用事業

養育が一時的に困難になった母子、児童を受け入れます。

④ アフターケア

母子の退所後をインケアからアフターケアへつなぐため、地域の社会資源を組み込んだネットワークによる切れ目のない支援を提供します。

3 主な実施事業

(1) 施設・設備整備計画

交流広場整備工事	2, 368千円
バスケットゴール設置	1, 056千円
フェンスの設置	1, 903千円
幼児用遊具購入	626千円

(2) 事業活動

① お母さんと共に

母親が安定した家庭生活を営むために必要な支援を行います。

- ・リフレッシュ保育（月1回）・お母さんと一緒（年6回）
- ・あったまろうデイ・惣菜デイ（月1回）
- ・ママチル（年3回）・朝食応援（月1回）

② 子どもたちと共に

子どもの自己実現を目指して、自立した社会生活に必要な基礎的な力を形成するための支援を行います。

- ・学童保育（春休み・夏休み・冬休み）・子どもクラブ・ブルー塾
- ・すずらん教室（月4回）・宿題後の毎日のおやつ
- ・手作りおやつ（月2回）・子ども食堂（お弁当配布等 年6回以上）

③ 施設と共に

自然や人に触れ合うことで、豊かな心を育む支援を行います。

- ・BIファーム（年間）・花いっぱい運動（年間）
- ・子育て応援団（プロから学ぼう）（年4回）

④ 地域と共に

地域の具体的な福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして、地域の子育て支援を行います。

- ・地域とつながるコスモスプロジェクト

施設周辺を入所児童と種から育てたコスモスで彩ります。子どもたちと学校、コミュニティセンター、児童民生委員等へコスモスの苗を届け地域とのつながりを深めます。

- ・つながるプロジェクト

退所家庭を招き、コミュニティの場を提供します。また退所家庭にお弁当、小包等を配布しアフターケアの充実を図ります。

- ・ブルーインター広報室

母子生活支援施設の理解を深めるために、ホームページの活用及び各行政に対して支援内容のPRを行い利用促進に努めます。

4 安全管理・衛生管理

- (1) 子どもの心身の状態を踏まえつつ、施設内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制作りを図ります。
- (2) 感染症対策として日頃から入所者様、職員の健康状態に留意します。
- (3) 新型コロナウイルス感染症については、手洗い、マスクの着用、手指のアルコール消毒を徹底し、三密を防ぎ、1時間に2回以上の換気を行うなど、常に感染予防に努めます。入所者様・施設職員とその同居家族等に感染が疑われる場合は法人本部と密接に連携し、迅速な対応に努めるなど感染拡大防止に十分に配慮します。
- (4) 年に2回、母子を対象に健康診断を実施し、支援等に支障のないよう健康・衛生管理に努めます。
- (5) 車両について日常点検などの安全管理を行い、運転状況把握のため、運転日誌の記録を行います。
- (6) 職員に対し道路交通法等関係法令を遵守し、運転前後のアルコールチェックにより、酒気帯び運転を防止すると共に、交通安全に努めるように、研修などを通じて安全教育を実施します。

5 防火・防災・救助体制

災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命を守るとともに、被害の軽減を図ります。

- (1) 消防設備の定期的な点検を実施し、防災意識の徹底と防災教育に取り組み、入所世帯及び職員の安全を確保することに努めます。
- (2) 防火・防災・避難訓練及び消火訓練は毎月1回実施し、年に1回消防署の指導のもと訓練を実施するとともに、年1回隣接するインターグループホームと合同で訓練を実施します。

6 職員の資質の向上と研修

(1) 外部研修への参加

よりよい支援をしていくために、母子生活支援施設協議会、児童入所施設協議会等に属し、DVに対する知識や被虐待児に対する支援、母親への関わり方を学びます。また鳥取県DV被害者等支援体制強化事業に基づくケース検討会(心のケア事業)において事例提供者として発表をします。心理士は母子が抱える課題の多様化・複雑化に対応するため、精神科医のスーパーバイズを受け、より適切な心理的治療に取り組みます。

(2) 法人内部研修への参加

管理職・中級職員研修、接遇研修、文書研修、事務処理研修、新任職員研修・初級職員研修等の法人内研修に参加します。

(3) 施設内のOJT・研修の実施

基幹的・専門職員が同席し、母・子担当ケース会議を定期的で開催します。支援経過については情報共有し助言をもらい、よりよい支援方法を習得します。施設内研修は虐待、権利擁護等を中心に行います。

(4) 職員の資格取得のための取り組み

法人が定めた「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、公認心理師、社会福祉主事任用資格など、より専門的な支援ができるよう資格取得を目指します。

(5) 職員間の日常的な連携、報告、連絡、相談の徹底

日頃より母親と子どもを尊重した支援について、職員が共通の理解を持つよう

に取り組むことが必要不可欠であることから、引継ぎノートやホワイトボードを活用した連携の見える化に取り組みます。各担当者会議においても報告時間を設け更なる連携、報告、連絡、相談の徹底に努めます。相談しやすい環境作りにも取り組み良質な支援の提供に努めます。

7 SDGs の取組み

- ・目標 4 質の高い教育をみんなに～貧困・暴力の連鎖を断ち切るために～

DV・虐待・貧困などを体験することで「深刻な生きにくさ」を抱えて入所されている家庭がたくさんあります。このため世代間連鎖が問題視される現在に社会的養護における取組として、貧困に陥らないための考え方や行動方法等のスキルを母親と子どもが身につけるよう支援します。具体的には「金銭教育」「ソーシャルスキルトレーニング」「学習支援」「心理的ケア」「就労支援」「法律相談」などを実施し、各種助成金や奨学金を活用し、子どもたちの進学をサポートします。

- ・目標 12 持続可能な生産消費形態を確保する～地域での清掃活動～

小鴨小学校までのゴミ拾いに取り組みます。(年4回)

古着・学用品のリサイクル活動

8 職員の健康維持・増進の取組み

- ・からだの健康のため、生活習慣病リスクチェックシートの実施と改善

(年2回)

- ・こころの健康のため、うつ状態セルフチェックシートの実施と改善 (年2回)

9 各種団体との連携と地域交流

(1) 広報紙の発行・配布

発行回数：1回/月

配布先：入所世帯

(2) 各種団体との連携

入所者様一人ひとりのニーズに合った支援をするために、婦人相談所、児童相談所、警察、弁護士、各学校、各福祉事務所、市役所、各種病院等と連携をとりながら必要に応じて、関係者会議を開催し情報を共有し理解を深めます。

① 要保護児童対策地域協議会

② 各種ケース検討会

③ DV ネットワーク会議

④ 小学校情報交換会 3ヶ月に1回(施設、学校)

⑤ 小、中学校ケース会議 随時(担当者、担任)

⑥ 保育園との情報交換会

(3) 各種行事を近隣住民・児童民生委員・弁護士・福祉事務所・退所家庭の方にご案内し、交流を行います。また、地域でのボランティア活動(SDGsの取組)として、子どもたちと、校区内のゴミ拾いも行います。(年4回)

10 年間行事等

別紙のとおり

令和 5年度 行事計画表

施設名：ブルーインター

月	行 事		会 議		職員研修		安 全・安 心	施設整備・点検
	施設内	施設外	施設会議	外部主催会議	法人・職場研修	外部主催研修		
4月	創立記念を祝う会・総会 母との会 春休み学童保育行事 子どもクラブ	春の一斉清掃 CaféインターGH合同	職員会・施設内ケース検討会 子担当会議 母担当会議	相談機関担当職員ネットワーク会議 各保育園情報交換会(随時) 鳥取県母子生活支援施設協議会総会	施設内虐待防止研修 感染予防研修		職員検便検査 感染症予防対策実施	災害訓練・環境整備 防火管理自主チェック、洗車 自家用電気工作物の点検 消防点検 大型遊具点検
5月	子どもクラブ	土に親しむ会	職員会・施設内ケース検討会 子担当会議 母担当会議	鳥取県母子生活支援施設協議会総会 「配偶者等に対する暴力防止」相談 機関担当職員ネットワーク会議	初任者研修	防火管理者研修会 児童福祉施設等職員基礎研修会 安全衛生推進者講習	職員検便検査 感染症予防対策実施	災害訓練 環境整備 大型遊具点検 洗車
6月	母との会 子どもクラブ 古着・学用品のリサイクル活動		職員会・施設内ケース検討会 子担当会議 母担当会議	倉吉市社会福祉施設連絡協議会 施設代表者会 相談機関担当職員ネットワーク会議 児童福祉入所施設長会議	施設内人権研修 会計研修	安全管理者等安全管理スタッフ研修会 全国母子生活支援施設職員研修会 児童福祉施設等職員基礎研修会 食中毒感染症発生防止研修	職員検便検査 感染症予防対策実施	災害訓練、洗車 防火管理自主チェック 自家用電気工作物の点検 環境整備 大型遊具点検
7月	子どもクラブ 夏休み学童保育行事		職員会・施設内ケース検討会 子担当会議 母担当会議	小学校との定例連絡会 中国四国母子生活支援施設協議会	管理職員研修	母子生活支援施設協議会施設長会 配偶者等からの暴力被害者支援職員基礎研修会 児童福祉施設等職員基礎研修会 階層別(基幹的職員)研修会	職員検便検査 感染症予防対策実施	災害訓練 環境整備・掃除 大型遊具点検 洗車
8月	母との会 子どもクラブ 夏休み学童保育行事 盆前大掃除	CaféインターGH合同 コスモス配り 地域交流福祉会夏祭り	職員会・施設内ケース検討会 子担当会議 母担当会議	相談機関担当職員ネットワーク会議		苦情受付担当者研修会 子どもの発達支援研修会 階層別(中堅)研修会	職員検便検査 入所者健康診断 感染症予防対策実施	災害訓練(消防署) 防火管理自主チェック 自家用電気工作物の点検 環境整備 大型遊具点検 洗車
9月	保育園児おやつ作り 子どもクラブ 夕涼み会(インターGH合同)	秋の一斉清掃	職員会・施設内ケース検討会 子担当会議 母担当会議	よりよい養育支援を目指す学習会 施設間交流研修会	中堅職員研修	児童福祉施設等職員基礎研修会	職員健康診断 職員検便検査 感染症予防対策実施	災害訓練(インターGH合同)、洗車 消防点検 環境整備 大型遊具点検
10月	母との会 ハッピーハロウィン 子どもクラブ	自然体験活動	職員会・施設内ケース検討会 子担当会議 母担当会議	相談機関担当職員ネットワーク会議 全国母子生活支援施設研究大会 鳥取県母子生活支援施設協議会施設長会	施設内研修	鳥取県母子生活支援施設協議会職員研修会 児童福祉施設等職員基礎研修会 子どもの発達支援研修会	職員検便検査 入所者尿検査 職員健康診断 感染症予防対策実施	災害訓練、洗車 自家用電気工作物の点検 消防点検 大型遊具点検 環境整備・掃除
11月	子どもクラブ クリーン活動 古着・学用品のリサイクル活動	地域交流福祉会文化祭 土に親しむ会	職員会・施設内ケース検討会 子担当会議 母担当会議	よりよい養育支援を目指す学習会 鳥取県児童入所施設協議会 中部圏域要保護児童対策地域協議会 鳥取県母子生活支援施設協議会		倉吉市社会福祉大会 鳥取県児童福祉入所施設協議会施設交流研修会	入所者健康診断 職員インフルエンザ予防接種実施 感染症予防対策実施 職員検便検査	災害訓練、洗車 消防点検 環境整備 大型遊具点検
12月	クリスマス会 子どもクラブ 餅つき 冬休み学童保育行事 年末大掃除 母との会	CaféインターGH合同	職員会・施設内ケース検討会 子担当会議 母担当会議	相談機関担当職員ネットワーク会議 小学校との定例連絡会			感染症予防対策実施 職員検便検査	災害訓練、洗車 防火管理自主チェック 自家用電気工作物の点検 消防点検 大型遊具点検 環境整備
1月	冬休み学童保育行事 子どもクラブ		職員会・施設内ケース検討会 子担当会議 母担当会議	よりよい養育支援を目指す学習会		鳥取県母子生活支援施設協議会職員研修会 被措置児童等虐待防止研修会 感染症・結核予防対策研修	職員検便検査 感染症予防対策実施	災害訓練 環境整備 大型遊具点検 洗車
2月	節分 子どもクラブ 母との会 「命の尊さを考える日」		職員会・施設内ケース検討会 子担当会議 母担当会議	相談機関担当職員ネットワーク会議 鳥取県母子生活支援施設協議会職員研修 倉吉市子どもの発達支援研修会		子どもの発達支援研修会	職員検便検査 感染症予防対策実施	災害訓練 洗車 防火管理自主チェック 自家用電気工作物の点検 消防点検 大型遊具点検 環境整備
3月	歓送迎会 子どもクラブ 春休み学童保育行事	卒園遠足 CaféインターGH合同	職員会・施設内ケース検討会 子担当会議 母担当会議	小学校との定例連絡会 各保育園情報交換会			感染症予防対策実施 職員検便検査 入所者健康診断	災害訓練 洗車 消防点検 環境整備 大型遊具点検

※ 入所者児童(月1回)体重測定実施 身体測定(年2回)
※ 施設内ケース検討会(月2回)